

小さな町や村の資源を活かし地域を元気に

七戸の明日を考える100人会議

総務省の地域力創造のための起業者定住促進モデル事業の専門家派遣で、青森県七戸町の地域づくりを支援しました。

新幹線の開業を機に地域の活性化を図りたいという地元の思いに対して、地域資源と人材の掘り起こしが先決と考え「七戸の明日を考える100人会議」の開催を提案しました。地元有志の実行委員会がつくられ、ファシリテーション研修を受けたメンバーを中心に114人が参加した大規模ワークショップを開催し、55の地域づくりの提案をまとめることができました。

そのうちのひとつから「七戸がヒナコウモリの一大コロニーであり、豊かな農産物の代表がニンニク、そして中世のお城の跡があることから“ドラキュラ de まちおこし”の取組」が誕生。今まで無い多分野のネットワークが生まれ、コウモリ営巣地にライブカメラを設置しての環境学習の取組、地元食材を活用したドラキュラメニューの開発、新たな食材開発、七戸のブランドロゴづくりと情報発信、年に1度の子どもからお年寄りまで参加するドラキュラフェスタなど多彩な活動がつぎつぎに生まれています。



「七戸の明日を考える100人会議」の様子

北海道集落対策ハンドブック～明日の集落の暮らしを考えるヒント～

集落機能の維持・確保が課題となっている中、具体的な対応策について、集落問題の専門家による研究会を開催し、その成果を発信する『北海道集落対策ハンドブックー集落の明日の暮らしを考えるヒントー』を作成しました（監修：北海道集落問題研究会）。

集落の現状を知る方法や、集落ぐるみでの話し合いの方法、道内外の解決事例からのヒント集などをまとめ、自治体職員、集落支援員や地域おこし協力隊、そして住民の方々など幅広い読者を対象に、読み物として親しみやすい編集としました。

その他、地域における集落問題に関する危機意識の醸成や、集落を支える人材の育成を図るため、「集落問題地域フォーラム」や「集落地域リーダー養成講座」を開催しました。（事業名：北海道集落総合支援事業）



上左／「北海道集落問題研究会」の様子・上右／「集落問題地域フォーラム」の様子
下左／「集落地域リーダー養成講座」の様子・下右／「北海道集落対策ハンドブック」

就業・起業塾 in HOKKAIDO

人口減少や高齢化の進行に伴い、集落機能の低下などが地域の喫緊の課題となっています。

このことから、北海道で就業・起業を考えられている未就業の方や、今後地域おこし協力隊など地域活動の担い手を目指す方を対象に、道内の町や村を元気にする企業・NPO・団体などへの就職や、起業を応援する「就業・起業塾 in HOKKAIDO」を開催しました。

東京でキックオフ・ミーティング、道内6圏域で人材育成セミナー「課題解決編」「体験・起業編」、札幌で人材育成セミナー「本格起業編」、札幌と道内6圏域でマッチング相談会を行いました。これらを通じ、道内の地方で資源を活かしたビジネスや、地域の課題解決に取り組む企業・NPO・団体への就業や、地域の資源を活用したビジネスの起業につなげました。（事業名：「ガンバル集落」人づくり事業）



「キックオフ・ミーティング」の様子



上／人材育成セミナー「課題解決編」の様子・中／「体験・起業編」の様子・下／「マッチング相談会」の様子